【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【公表番号】特表2018-510962(P2018-510962A)
【公表日】平成30年4月19日(2018.4.19)
【年通号数】公開・登録公報2018-015
【出願番号】特願2018-503836(P2018-503836)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｂ　37/08　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/08　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/726　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/728　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/727　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｂ　37/08　Ｚ
Ａ６１Ｋ　 9/08
Ａ６１Ｋ　47/10
Ａ６１Ｋ　47/18
Ａ６１Ｋ　31/726
Ａ６１Ｋ　31/728
Ａ６１Ｋ　31/727
Ａ６１Ｐ　27/02

【手続補正書】
【提出日】平成31年4月4日(2019.4.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
今まで、青色光からの眼の効果的な保護を確実にできる化学化合物は市場に存在していない。特許文献１は、全能幹細胞の分化のための有用な製剤としてヒアルロン酸レチノイン酸エステルを記載している。他方で、点眼剤は有効成分の投与のために最適な方法ではないこともまた、知られている。なぜなら、それらは低いバイオアベイラビリティを有するので、主に眼における排水系の存在に起因して低い治療反応に供されるからである。この理由のために、この種の製剤は所望の治療効果を達成するために複合投与を必要とする。青色光放射によって引き起こされる損傷から眼を保護できる化合物の開発に関する関心が上記から明白である。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】

０．９５ｇのビキシンを、湿気に対して保護したリアクタ内で４５０ｍＬのＤＭＦに溶解し、１ｅｑのＮ，Ｎ－カルボニルジイミダゾールを混合物に加える。１時間後、溶液をＨＡ－ＴＢＡゲルにゆっくり加え、このように得られた混合物を３０℃にて１６時間撹拌させる。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４７】
０．５ｇのビキシンを、湿気に対して保護したリアクタ内で２５０ｍＬのＤＭＦに溶解し、１ｅｑのＮ，Ｎ－カルボニルジイミダゾールを混合物に加える。１時間後、溶液をＨＡ－ＴＢＡゲルにゆっくり加え、このように得られた混合物を３０℃にて１６時間撹拌させる。